

【天皇盃 第29回 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 選手選考基準】

1 <<目標>>

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会の競技成績の向上を図る。

2 <<具体的目標>>

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会過去最高順位・記録を上回る。

3 <<スタッフ>>

監督（一般担当）兼箇段 賢（糸満高等学校教諭）
コーチ（高校担当）與那嶺 芳和（那覇西高等学校教諭）
コーチ（中学担当）新里 卓之（与勝中学校教諭）

4 <<代表選手及び強化選手選考について>>

各種大会の記録等を参考に、都道府県男子駅伝スタッフが代表選手を選出する。

① 県内中学校、高等学校の情報収集を行う。

② 県内・外大学・実業団の監督と連携し、選手発掘に努める。

5 <<代表選手選考基準>>

【中学生】

① 一次選考会結果から強化選手を選考する。強化選手には二次選考会を実施し、その内容から全国都道府県男子駅伝大会のレースに対応出来る選手を4名選考する。

② 次年度強化を含めて3000mの走力から2年生の選考もある。

③ 一次選考会要項10(その他)(3)「中学校男子選考について」も選考基準とする。

【高校生】

① 今年度5000m公認記録上位者の中から5名程度選考する。その際、セカンドタイム及び高校生区間の適正等も考慮しスタッフ協議の上決定する。

② 次年度強化を含めて5000mの走力から1・2年生の選考もある。

【大学生・一般】

3区（8.5km）、7区（13km）+2名程度を選考する。

① 今年度各競技会及び公認記録会の成績と記録を有する者を選考対象とする。その際セカンド記録及び安定性等も考慮する。

② 選手選考を12月に行う。

③ 正選手、控え選手の区別については、スタッフで協議の上決定する。

④ ふるさと選手については、今年度の競技実績を考慮し選考対象とする。

6 【選考会について】

① 一次選考会：令和5年11月26日（日）

② 二次選考会：令和5年12月10日（日）